

## 「習慣は作り上げるもの」

習慣とは行動である。頭で考えるのではなく、地で行くことである。行動することによって、自分の習慣を作り上げるのである。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

早いもので2023年もあつという間に1ヶ月が過ぎ、時の流れの速さに驚かされます。

子どもたちはそんな時間の早さにも負けず、日々成長しており頼もしく感じます。

保育園の子どもたちは、この時期になると0歳児クラスでも手を洗う、決められた椅子に座る、エプロンを付けるなど食事前の準備や靴下を履く、帽子をかぶる、靴を履くなど戸外遊びの準備など自分でやろうとする姿が見られます。もちろんまだ、一人では上手くできないこともありますので、一人ひとりの発達を丁寧に見ながら行動に言葉を添えたりさりげない援助をし「自分でできたね」と頑張りを認めています。大袈裟に褒めるのではなく、その子に分かるように微笑みかけるだけでも自分のことをしっかりと見ていてくれる、愛されている、認めてくれたという安心感に繋がり自信を付けていきます。また、行動をルーティン化することで、基本的な生活習慣が身についていきます。そして年齢が上がるにつれ次第に今何をすればよいかを考えたり、時間を意識することで、この時間までに終わらせよう、次はこれをするんだと見通しを立て行動へと移すようになります。

毎日丁寧にかかわりながら、正しい習慣を作り上げ、次にやること分かる安心感の中で、子どもたちが自ら考え、行動していくことができるように見守りながら、一人ひとりの育ちを支えていきたいと思ひます。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

## 2月聖句

ここに愛があります。

ヨハネの手紙I 4章10節

## 2月主題

「いっしょに」 0歳

- ・保育者と一緒に祈ろうとする。
- ・友だちの存在を身近に感じ関わり合う。
- ・外気に触れながら冬から春に向かう自然の中で身体を動かす。

「いっしょに」 1・2歳

- ・自分から神さまに祈ろうとする。
- ・保育者や友だちにも思いがあることに気付く。
- ・全身を使ったり、手指を十分に使って遊ぶ。

## ～子どもたちの姿～

寒い日が続いていますが、子どもたちの元気な声が園内を暖かくしてくれます。みんなで大きく育てたコキアを乾燥させ、種を採っていると枝の形を見て「何だか、ほうきみたい」と家で手伝いをしたことがあるのか、子どもたちからそんな声が出てきました。それをきっかけに、ほうき作りが始まりました。持ち手の部分に好きな色の古布を巻き付けると、空組は真剣な表情で、この位置にこの色が来るようにと工夫しながら巻き付けていました。そんな年上児の様子を見て、大地組も海組も興味津々。保育士と一緒に自分のほうきを作ることが出来ました。どの子どもも誇らしげな表情で早速園庭の掃除が始まりました。「こっちは汚れている」「お家に持って帰りたい」「今日もお掃除したい」と掃除ブーム到来です。



### 【2月の讚美歌】

このはなのように

### 【2月のうた】

さんぽ おにのパンツ  
にじのおこうに

	月	火	水	木	金	土	日
2月の予定表			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10 身体測定	11 建国記念の日	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20 避難訓練	21	22	23 天皇誕生日	24 誕生日会	25	26
	27	28 クレイシュ通信					

◎県内で感染性胃腸炎やインフルエンザなどが流行しています。家庭での手洗いがいの徹底をよろしくお願いいたします。  
◎持ち物の名前が薄くなっているものがありますので、名前の確認をお願いします。